

HIKVISION



ネットワーク PanoVu カメラ

クイックスタートガイド

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2017 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou HIKVISION Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社(以下、「Hikvision」とする)の所有するものとします。本ユーザマニュアル (以下、「本マニュアル」とする) は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関する補償は行いません。

本マニュアルについて

このマニュアルはネットワーク PanoVu カメラに適用されます。本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。最新版は当社 Web サイトを参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証(性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない)を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンにしたりオフにすることで確認できます)、ユーザは以下の手段の一つまたはそれ以上を適用することでそれに対応することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくとる。
- 機器を受信器が接続されているものとは違うシステムのコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ/TVの技術者に相談してください。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE”のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC(バッテリー指令):本製品には、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム(Cd)、鉛(Pb)、水銀(Hg)を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。 www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。



安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガをしたり、装置が破損する可能性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。

ネットワーク PanoVu カメラ・クイックスタートガイド

- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 12VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。



注意

- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指でさわらないでください。清掃が必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズキャップを装着し、センサー部をほこりから防護してください。
- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないでください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があります(動作不良ではありません)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。

ネットワーク PanoVu カメラ・クイックスタートガイド

- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性があるため、レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面がレーザー光線にさらされることのないようにしてください。
- カメラを極度の高温や低温(動作温度は-40°Cから+60°C)、ほこりっぽい場所や湿った場所に設置しないでください。また、高出力電磁波にさらさないようにしてください。
- 熱がこもらないように、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包材か、同等のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換：装置のいくつかのパーツ(たとえば電解コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、定期的に交換してください。動作環境と利用状況によって平均耐用時間は変わりますので、定期的な点検をすべてのユーザーにおすすめます。詳細については販売店に確認してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのもので交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとししないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。)

0504061070927

目次

1	外見の説明	9
2	取り付け	11
2.1	メモ리카ードの取り付け	12
2.2	カメラマウント	13
2.2.1	天井マウント	13
2.2.2	壁面マウント	17
2.2.3	吊り下げマウント	18
2.3	ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け (オプション)	21
2.4	防水テープの取り付け(オプション)	23
3	LAN 経由のネットワークカメラの設定	27
3.1	配線	27
3.2	カメラのアクティベート	28
3.2.1	Web ブラウザ経由のアクティベーション	28
3.2.2	SADP ソフトウェア経由のアクティベーション	29
3.3	IP アドレスの変更	32
4	Web ブラウザ経由のアクセス	34

1 外見の説明

カメラの概観は以下に示す通りです。

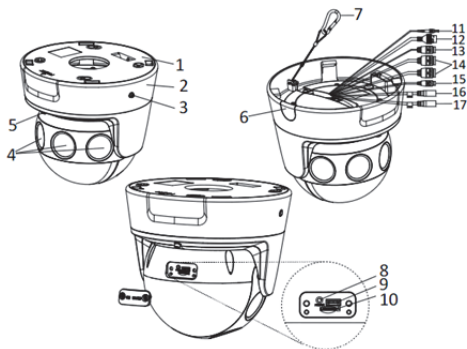


図 1-1 カメラの概観

表 1-1 詳細

番号	説明
1	アダプタープレート
2	底面ベース
3	ロックネジ
4	レンズ

ネットワーク PanoVu カメラ・クイックスタートガイド

番号	説明
5	調整ネジ
6	側面ケーブル開口部
7	安全ロープ
8	リセットボタン
9	RS232 インターフェイス
10	メモ리카ードスロット
11	FC 光インターフェイス(オプション)
12	ネットワークインターフェイス
13	電源インターフェイス
14	アラームインターフェイス(オプション)
15	RS485 インターフェイス
16	音声出力インターフェイス(オプション)
17	アラーム入力インターフェイス(オプション)

注意:

- カメラの機能はモデルによってさまざまに異なります。
- カメラの電源をオンにする際、または再起動の際に RESET を 10 秒間長押しすることで、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号等を含むデフォルト設定を復元できます。

2 取り付け

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 電源規格は 12 VDC または PoE (802.3at) です。電源供給がカメラと適合していることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がオフになっていることを確認します。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 壁面が、カメラと取付金具の重量の 4 倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。

赤外線をサポートするカメラについては、赤外線の反射を防ぐために、以下の注意事項に留意する必要があります:

- ドームカバーに付着したほこりや油は赤外線の反射を引き起こします。ドームカバーのフィルムは、設置が完了するまではがさないでください。ドームカバーにほこりや油が付着した場合、柔らかく清潔な布とイソプロピルアルコールでドームカバーを清掃してください。
- カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。
- レンズの周りのフォーム リングは円蓋の内面と面に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドームカバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

2.1 メモリカードの取り付け

カメラにはメモリカードを取り付けることができます。

手順：

1. 調整ネジをゆるめます。

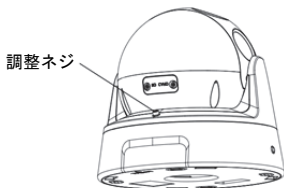


図 2-1 調整ネジをゆるめる

2. メモリカードスロット全体が完全に現れるまで、カメラ本体を回転させます。
3. ネジをゆるめてメモリカードスロットのカバーを取り外し、スロットにメモリーカードを挿入します。



図 2-2 メモリカードの挿入

4. ネジを締めてスロットカバーを再度取り付け、調整ネジを固定します。



図 2-3 調整ネジの固定

2.2 カメラマウント

2.2.1 天井マウント

手順：

1. ドリルテンプレートを天井に張り付け、ドリルテンプレートにマークされた穴に合わせてネジ穴をドリルで開けます。



図 2-4 天井のドリル孔

- (オプション)天井を経由してケーブルを配線したい場合、ドリルテンプレートに合わせて、ドリルでケーブル孔を開けてください。
- ロックネジをゆるめ、アダプタープレートを回転させてカメラから取り外します。



図 2-5 アダプタープレートの取り外し

4. ネジでアダプタープレート天井に固定します。

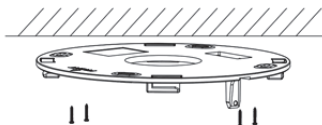


図 2-6 アダプタープレートの天井への固定

5. カメラを安全ロープでアダプタープレートに取り付けます。

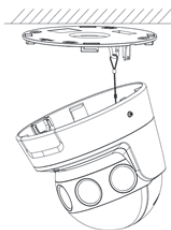


図 2-7 アダプタープレートへの安全ロープの固定

6. カメラのケーブルを配線します。
7. (オプション) ネットワークケーブルの防水ジャケットを取り付け、ケーブルに防水テープを取り付けます。詳細については 2.3 と 2.4 を参照してください。

8. カメラをアダプタープレートに押し付け、カチッと音がして固定されるまで回転させます。ロックネジの固定



図 2-8 カメラのアダプタープレートへの固定

9. カメラの監視角度を調整します。
- 1). 調整ネジをゆるめます。
 - 2). カメラのパンとチルトの位置を調整します。パンの調整範囲は 0° から 355° まで、チルトは 0° から 90° までです。
 - 3). 調整ネジを締めます。



図 2-9 撮影角度の調整

2.2.2 壁面マウント

始める前に:

壁面マウント取付金具はパッケージに含まれていません。別途、壁面マウント取付金具を準備する必要があります。

手順:

1. 安全ロープを取付金具にかけ、同梱のキャップを取付金具に固定します。

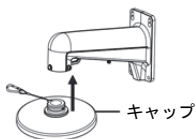


図 2-10 取付金具へのキャップの取り付け

2. ロックネジをゆるめ、アダプタープレートを回転させてカメラから取り外します。

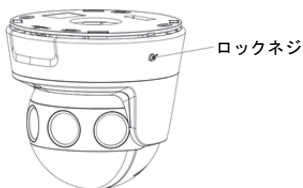


図 2-11 アダプタープレートの取り外し

3. ネジでアダプタープレートをキャップに固定します。

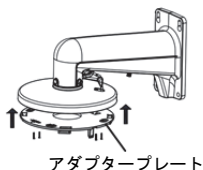


図 2-12 キャップへのアダプタープレートの取り付け

4. カメラを取付金具に設置します。以下の手順は天井マウントの場合と同様です。詳細については2.2.1 天井マウントの手順 6～9 を参照してください。

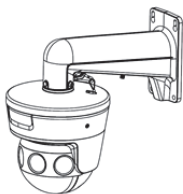


図 2-13 取付金具へのカメラの取り付け

2.2.3 吊り下げマウント

始める前に:

吊り下げマウント取付金具はパッケージに含まれていません。別途、吊り下げマウント取付金具を準備する必要があります。

手順：

1. 安全ロープを取付金具にかけ、同梱のキャップを取付金具に固定します。

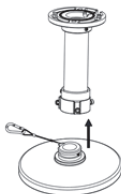


図 2-14 取付金具へのキャップの取り付け

2. ロックネジをゆるめ、アダプタープレートを回転させてカメラから取り外します。

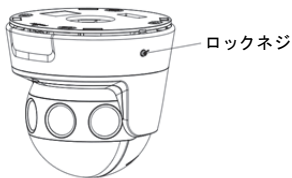


図 2-15 アダプタープレートの取り外し

3. ネジでアダプタープレートをキャップに固定します。

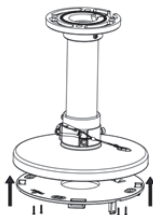


図 2-16 キャップへのアダプタープレートの取り付け

4. カメラを取付金具に設置します。以下の手順は天井マウントの場合と同様です。詳細については2.2.1 天井マウントの手順 6～9 を参照してください。



図 2-17 取付金具へのカメラの取り付け

2.3 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け (オプション)

目的:

カメラを屋外に設置する場合、カメラを設置面に固定した後で、ネットワークケーブル用の防水アクセサリを適用することができます。

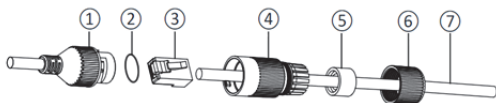


図 2-18 防水アクセサリコンポーネント

表 2-1 コンポーネント

番号	コンポーネント
1	カメラのネットワークインターフェイスソケット
2	O型ガスケット
3	ネットワークプラグ
4	防水エンドキャップ
5	防水ラバーガスケット
6	ロックナット
7	ルータ/スイッチからのネットワークケーブル

手順：

- 1) プラグなしネットワークケーブル⑦をロックナット⑥、防水ラバーガasket⑤(ラバーガasketのはめ込み突起が防水エンドキャップ側を向いていること)、防水エンドキャップ④の順に通していきます。
- 2) ツイストペアケーブルを正しい順番で差し込み、RJ-45 ネットワークプラグ③をケーブルの端に取り付けます。
- 3) O 型ガasket②をカメラのネットワークインターフェイスソケット①の端に取り付けます。
- 4) ネットワークプラグ③をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に挿入します。
- 5) 防水ラバーガasket⑤ を防水エンドキャップ④,に挿入し、ロックナット⑥ を防水エンドキャップ④に取り付けます。
- 6) 防水エンドキャップ④ の留め金をカメラのネットワークインターフェイスソケット①,の切れ込みに合わせ、防水エンドキャップ④をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に固定して、取付は終了です。

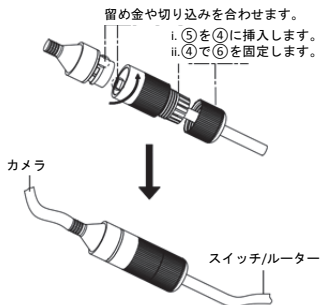


図 2-19 防水アクセサリの取り付け

2.4 防水テープの取り付け(オプション)

目的:

カメラを屋外に設置する場合、カメラを設置面に固定した後で、ケーブルコネクタと利用されないケーブルを保護するために、同梱の防水テープを利用することができます。

手順:

1. 防水テープ裏面の黄色い剥離紙をはがします。
2. 防水テープを元の長さの二倍になるまで引き延ばします。

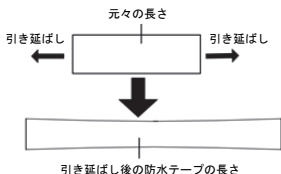


図 2-20 防水テープの引き延ばし

3. 下図のように、防水テープをケーブルコネクタの周りにきつく巻き付けます。

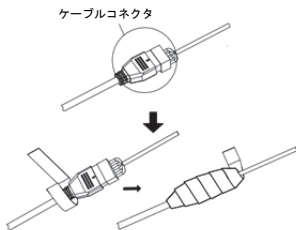


図 2-21 防水テープの巻き付け

注意:

裸の銅線が防水テープでしっかりと覆われているようにしてください。

4. 下図に示すようにコネクタの両端にテープをしっかりと押し付け、水が入らないようにしてください。

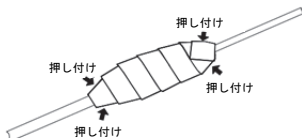


図 2-22 防水テープを押し付ける

5. 下図のように、防水テープを残った未使用ケーブルの周りにきつく巻き付けます。

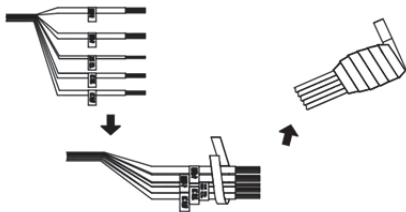


図 2-23 防水テープの巻き付け

注意:

裸の銅線がすべて防水テープでしっかりと覆われているようにしてください。

6. 下図に示すようにテープをしっかり押し付け、水が入らないようにしてください。

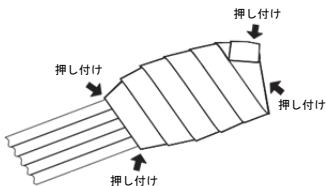


図 2-24 防水テープを押し付ける

3 LAN 経由のネットワークカメラの設定

注意:

- インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合、ネットワーク上のセキュリティリスクがあることを承諾したものと見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。

3.1 配線

以下の図にしたがってカメラをネットワークに接続します。

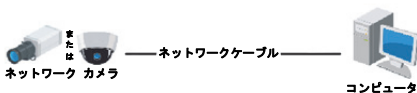


図 3-1 直接接続

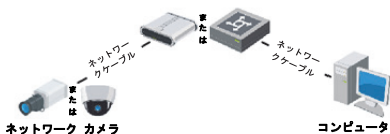


図 3-2 スイッチまたはルータ経由の接続

3.2 カメラのアクティベート

カメラを使い始める前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベート、SADP 経由のアクティベート、そしてクライアントソフトウェア経由のアクティベートのすべてに対応しています。SADP ソフトウェアおよび Web ブラウザ経由のアクティベーションを例にカメラのアクティベーションを説明します。

注意:

クライアントソフトウェア経由のアクティベーションについてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

手順:

1. カメラの電源をオンにします。カメラをお使いのコンピュータまたはコンピュータが接続されているスイッチ/ルータに接続します。
2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押してアクティベーションインターフェイスに進みます。

注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピュータとカメラは、同じサブネットに属している必要があります。
- DHCP がデフォルトで有効化されているカメラの場合、SADP ソフトウェアを利用して IP アドレスを検索する必要があります。

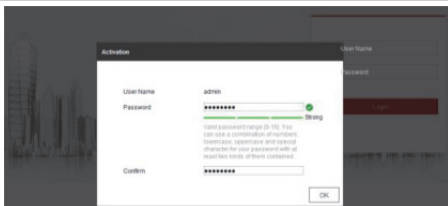


図 3-3 アクティベーションインターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。



強力なパスワード推奨 – 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアはオンラインデバイスの検知、カメラのアクティベート、およびパスワードのリセットに利用します。

ネットワーク PanoVu カメラ・クイックスタートガイド

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。ステップにしたがい、カメラをアクティベートします。

手順：

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。

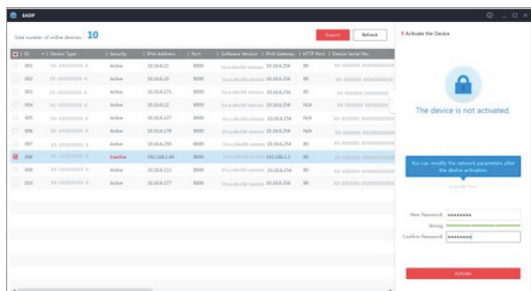


図 3-4 SADP インターフェイス

注意：

SADP ソフトウェアはカメラの一括アクティベートをサポートしています。詳細については SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードフィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワード推奨 – 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. **[アクティベート]**をクリックしてアクティベーションを開始します。

ポップアップウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して再試行してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

カメラを LAN(ローカルエリアネットワーク) 経由で閲覧、設定するためには、ネットワークカメラをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。

SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、デバイスの IP を検索して変更します。ここでは、SADP ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

クライアントソフトウェア経由で IP アドレスを変更する場合は、クライアントソフトウェアのユーザマニュアルを参照してください。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブデバイスを選択します。
3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピュータと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する]のチェックボックスをチェックしてください。

Modify Network Parameters

Enable DHCP

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

Security Verification

Admin Password:

Modify

[Forgot Password](#)

図 3-5 IP アドレスの変更

4. 管理者パスワードを入力して **[変更]** をクリックし、IP アドレスの変更を有効化してください。

SADP では IP アドレスの一括変更がサポートされています。詳細については SADP のユーザマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザ経由のアクセス

システム要件：

- オペレーティングシステム:Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上
- CPU:2.0 GHz またはそれ以上
- RAM:1G またはそれ以上
- ディスプレイ:解像度 1024×768 またはそれ以上
- Web ブラウザ:Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョンおよび Google Chrome 18 以降のバージョン

手順：

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワークカメラの IP アドレスを入力し、**[エンター]** キーを押してログインインターフェイスに入ります。

注意:

デフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスは、お使いのコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。

3. ユーザ名とパスワードを入力します。

管理ユーザはデバイスのアカウントおよびユーザ/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザ/オペレータ権限は削除してください。

注意:

管理ユーザがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザ/オペレータの場合、5 回)。

4. **[ログイン]**をクリックします。



図 4-1 ログインインターフェイス

5. ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。プラグインをインストールするにはインストールプロンプトにしたがってください。

注意:

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

Please click [here](#) to download and install the plug-in. Close the browser when installing the plug-in.

図 4-2 プラグインのダウンロード

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、ステップ 2~4 を繰り返してログインします。

注意:

その他の設定の詳細な解説についてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。



First Choice for Security Professionals

UD06265B

www.hikvision.com